

【城東小学校区】校園名（ 城東小学校 ）

[illegible]

振り返り

の空き教室をフルタイムとし、朝の用事が終わったら子どもはその部屋でゆっくり過ごしてもらいたいとしたことで、安心してスタートを切ることができた。

●「がっとうだすき」の学友はんくんでは、子ども一人ひとりが行きたい場所へ自由に出入りするよう、全教職員の協力で行って実施した。

○「なつがやてきたて」では、遊び方でも困ったことがあったときは、友達や先生と相談しながら進めることができました。また、春との違いに気付けるように、板書で整理した。

▲園での経験や子どもの思いを引き出せようという発問や展開を心がけたが、教師主導になってしまいうこともあった。

①「たのしいさびばい」では、夏から秋の季節の移り変わりの中で、きれいに色づいた葉や落ちる木のサカサナなどについて、「語調」「しめたいん 見せたいん」の学習で発見したことをさらに伝えることができた。

○「あさをはくし」では、子どもの速いやりたえむさを大団円に音楽に合わせて、秋の物をイメージして遊ぼうと話し合っていたところ、バレルプッシュという友だちと相対しながら進めることができた。デザインシートを使ってもっと自分の「〇〇したい」という思いをもっとはじき学習を展開することができた。

▲秋の物を使ったおもちゃは関心も小さな物を作ることが多かった。子ども達も、木の実や材料の気配でダイナミックな製作ができるような準備や材料を用意するタイミングが少し遅れすぎた。

②「もうすぐ2年生」では、様々な教科の学習や行事等において一年間がんばってきたことを思い出し、友達と成長を喜び合ったりと認識の共有ができ、自分自身の成長に気づき、自信を深めることができた。

○一年間のことを思い返すごころを通して、入学式で自分たちが上級生として入式をしたこと、思い起こさせるような言葉で迎えた方がいいと思うことが、入式まで約一ヶ月の発表をしようと考え、意欲的に話し合って決めることができた。

▲「ふゆのたのしみ」では、子どもの思いに関わり教師が両者をこころに決めた。材料もたくさん用意したが、冬は暖かい服装が必要だったので園庭の経験を踏まえてする中で出る子どもの声を持つことが足りなかった。